

# 時代の変化に的確に対応できる村づくり



## 住民と共に考え

協力し合うことで自律した  
活力ある村を目指します

## 少

子高齢化や人口減少、住民の価値観の多様化や厳しい財政状況など、自治体を取り巻く環境が大きく変化中、これまで行政が担ってきた全ての事業を継続することは極めて困難であり、これからの行政運営には住民の参加が不可欠になっています。

本村では住民と行政が協力・連携・補完しながら村づくりを進めていけるよう、住民参加の仕組みづくりや「自分たちの地域は自分たちの手で」というコミュニティ活動の推進に努めるとともに、男女共同参画社会の普及や地域内交流・地域間交流を積極的に進めていきます。

また、地方分権が進む中、地方自治体は以前にも増して自らの判断と責任に基づく行政運営が求められています。

本村では自律した活力ある自治体として効率的かつ効果的な行政運営を行っていけるよう、さらなる行政改革に取り組みとともに、バランスの取れた財政計画のもと、歳出の抑制や合理化、健全な財政運営、安定的な財源確保などに努めます。



広報たまかわ



友好都市台湾鹿谷郷交流訪問



産業まつり

# [ 行政 ] と [ 議会 ]

Administration

Assembly

## 村民と行政を結ぶ“掛け橋”を目指して



玉川村役場

**玉** 川村議会は、村民の代表として選出された12名の議員によって構成されており、年4回の定例会の他、臨時会を開き、条例の制定や改廃、予算の決定、決算の認定など、村政運営に欠かせない重要な案件の議決や請願・陳情についての審議を行っています。

さらに、専門的かつ効率的な審議を行うため、議会には2つの常任委員会があり、議員はいずれかの会に所属し、それぞれの分野で、より専門的に調査・研究を進めるとともに、議案・請願・陳情の審査などを行っています。



写真左から 教育長:富岡ケイ子、副村長:草野亀雄、村長:石森春男



写真左から 副議長:森 清重、議長:須藤利夫



# たまかわMAP

玉川村の村名は、旧須釜村から旧泉村に流れている玉川(その後、泉郷川に変更)にちなんで命名されました。



福島空港



東野の清流



玉川村イメージキャラクター  
山鳩のクックちゃん

## 玉川村の地勢

玉川村は福島県の南部、石川郡の北西部に位置し、東西に11.3km、南北に9.2km、面積が46.56km<sup>2</sup>です。

本村東部は阿武隈山地の西斜面で、西部は阿武隈川沿いに展開する、比較的平坦な土地です。気象的特徴としては、阿武隈山系特有の起伏の多い地形のため、標高による気象条件の変化が大きく、気温の年較差や日較差も比較的大きいなど気象的制約が多い地域です。

## 玉川村民憲章

玉川村の住民としての誇りと責任を持ち、美しい自然と伝統ある郷土を愛し、さらに活力に満ちた魅力ある村づくりを進めるため、この憲章を制定し実践します。

- 一、美しい自然と伝統を大切に、住みよい村をつくりましょう。
- 一、教養と文化を高め、心豊かな村をつくりましょう。
- 一、健康で楽しく働き、活力ある村をつくりましょう。
- 一、思いやりと連帯の心を養い、明るい村をつくりましょう。
- 一、広い視野と創意を持ち、飛躍する村をつくりましょう。

(昭和60年11月制定)

